

市議会 2月定例会を開催



いわき市議会2月定例会が、2月16日から3月9日までの22日間の会期で開催されました。

議会では、総額3,089億5,738万1千円に上る本年度の当初予算などが審議され、70議案が可決されました。その主なものを紹介します。

市長からの主な行政報告

- ☑新型コロナウイルス感染症の基本的な感染防止対策の徹底と積極的なワクチン接種への理解と協力をお願い
- ☑「いわき版『骨太の方針』」に基づき各種施策を着実に推進
- ☑内部改革を進め、必要とされる行政サービスへの人材と資源を再配分

主な補正予算

- ☑令和4年度予算の最終的な整理など
(一般会計＝2億8,253万8千円、特別会計＝14億3,991万6千円、企業会計＝△6億1,666万9千円)
- ☑令和4年度追加補正予算
(国の補正予算などに対応した事業＝33億8,995万6千円)
- ☑令和5年度補正予算
(国の補正予算などに対応した事業＝△25億5,283万5千円)

主な議案

- ☑いわき市中山間地域支援基金条例の制定について
中山間地域の維持や活性化を支援するため、恵み豊かないわきの里山の未来への継承を目的に基金を設置することから、同条例を制定しました。
- ☑いわき市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の改正について
市民の皆さんの利便性の向上と行政手続きのオンライン化の一層の推進を図る観点から、手数料などの納付手続きのオンライン決済を可能とするため、所要の改正を行いました。
- ☑いわき市市営住宅管理条例の改正について
配偶者からの暴力を受けた被害者の居住の安定を図り、その自立を支援するため、優先入居を認められるDV被害者の対象範囲を拡大することから、所要の改正を行いました。

市長です こんにちは⑮

新年度がスタート！

いわき市長 内田 広之



新年度がスタートしました。入学・就職された皆さん、おめでとうございます。新しい景色を探り、挑戦しながら彩りある豊かな1年になることを祈念します。

昨年度は、市長として初めて年間を通して市政を担いました。その中で「いわき市の未来の青写真」を分かりやすく示す必要性を痛感しました。長年の課題、例えば若者の都市部への流出や雇用・産業づくり、学力、特別支援教育、子育て環境、防災体制、医師不足、

農林水産業の担い手不足、公共交通など…。これらに立ち向かう青写真を、昨年11月に「いわき版『骨太の方針』」として示しました。

私は、こうした青写真を市民の皆さんと共有しつつ、毎年度の予算と「人の力」で課題の解決に取り組むことが、未来のいわき市を創っていくために不可欠だと考えています。

新年度予算はしっかり措置しました。「人づくり投資予算」として、教育・子育て・防災・医療・産業・農林水産などを担う人材育成のための予算も措置しました。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



いわき版
「骨太の方針」
はこちら



令和5年度当初
予算はこちら